

訪問看護医療情報連携加算について

当ステーションでは、安心して在宅生活を続けられるよう ICT（情報通信技術）を活用して以下の医療機関・薬局、居宅支援事業所等の関係機関と連携しています。共有された情報を、計画的な管理および訪問看護に活用し、質の高いサービス提供に努めています。

情報連携について

共有する情報には、次のような内容があります。

- ・ 利用者様の病状や身体状況等
- ・ 医療処置や服薬等に関する情報
- ・ 訪問看護の実施状況
- ・ その他、在宅療養を継続するために必要な情報

これらの情報を共有することで、利用者様の状態変化を早期に把握し、多職種が連携して適切な支援を行える体制を整えています。

使用する ICT サービス

- * フェニックスネット
- * うおぬま・米ネット

なお、情報共有は利用者様の同意を得た上で行い、利用者様の医療・ケアに必要な範囲で適切に情報を取り扱います。

主な連携医療機関の名称と種類

以下の主な機関と連携体制を構築し、情報共有を行っています。

連携機関名	機関の種類
長岡赤十字病院	保険医療機関
長岡中央総合病院	保険医療機関
立川総合病院	保険医療機関
長岡西病院	保険医療機関

※その他、市内外事業所多数
・ 医療機関
・ 保険薬局
・ 居宅介護支援事業所
・ 地域包括支援センター
・ 介護サービス事業所 等

利用者様の個人情報について

利用者様の個人情報および医療・ケアに関する情報を適切に取り扱い、個人情報の保護と情報セキュリティに十分配慮します。

厚生労働省の定める「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等を参考に適切な安全対策を行っています。

情報の内容に応じて、共有する関係者の範囲を適切に設定し、利用者様のプライバシーに十分配慮した情報連携を行います。

令和 8 年 6 月

訪問看護ステーション フォレスト 管理者：岩淵 和美